東京大都市圏における外国人人口の動向と地域の現況

――埼玉県川口市を中心に――

野村 侑平*

Yuhei NOMURA

The Dynamics of Foreign Population and Recent Trends in the Community in The Tokyo Metropolitan Area:

Focusing on Kawaguchi City, Saitama Prefecture

本章では、日本国内の中でも外国人が集中する東京大都市圏 ¹⁾ における外国人人口の動向について、COVID-19 感染拡大前後の変化に注目しつつ簡単に整理したのちに、2022 年 6 月末現在、外国人人口が市区町村別で最多である埼玉県川口市における動向と地域の現況について述べる。

1. 東京大都市圏における外国人人口の動向

東京大都市圏の在留外国人人口は、2022年6月末 現在、1,186,589人で、2008年のリーマンショックや 2011年の東日本大震災の混乱期を除けば、ほぼ一貫 して増加してきた(法務省出入国在留管理庁「在留外 国人統計」). ところが、2020年から2021年にかけて は2019年末以降のCOVID-19感染拡大の影響により 各国からの渡航制限が課されたことで減少傾向に転 じた. ただし、2022年初頭より水際対策が徐々に緩 和された結果を反映して再び増加傾向に転じた(図 1). 国籍別では、「中国(台湾含む)2)」および「ベトナ ム」の増加が顕著であり、2012年12月末から2022年6 月末にかけて前者は1.5倍、後者は7.2倍増加した一 方で、「韓国・朝鮮/韓国3)」は、15万人前後で横ば い状態が続いている。図2より外国人人口が集中し、 外国人比率も高い地域は、東京特別区の西部から北 部,埼玉県南部にかけてと神奈川県横浜・川崎両市 の沿岸部である. 外国人人口上位5市区町村は, 埼 玉県川口市 (39,028人), 新宿区 (38,739人), 江戸川 区(37,978人), 足立区(35,038人), 江東区(32,274人), 外国人人口比率は、横浜市中区(10.2%)、新宿区 (9.9%), 蕨市(9.9%), 豊島区(8.5%), 荒川区(8.2%) で、いずれも鉄道による交通至便な地域である.

次に、市区町村別在留資格構成かと2019年12月末時点の外国人人口を100としたときの2022年6月末時点の外国人人口を示した指数が(以下、「回復率」)(図3)をみると、「留学」の割合が大きい東京特別区の西部から多摩地域東部にかけて「回復率」が100を下回っている。一方、東京都心から30km超の市区町村では、「回復率」が軒並み100を超えているが、「技能実習」の受入れ再開が本格的に始動したことが背景にあると考えられる。これら対照的な地域の中間に

位置する埼玉県南部、神奈川県東部は、「回復率」が 100前後で、「居住資格」の割合が大きい。

続いて、外国人人口上位10市区町村における外国人の転入超過数について国外と国内にわけた推移(図4・5)をみると、前者は、いずれの市区町村もCOVID-19感染拡大前の2019年まで転入超過が継続していたが、2020年以降は各国からの入国制限を背景として激減した。一方、後者は、新宿区では2013年、豊島区では2015年からすでに転出超過がみられ、他区も2020年以降は足立区と江東区を除いて転出超過となっている。その中で、川口市は遅くとも2012年から転入超過が続き、COVID-19感染拡大後もその傾向が維持されている。

以上より、東京大都市圏の在留外国人人口は、COVID-19感染拡大により一旦は減少したものの、2022年以降は主として「技能実習」の受入れが積極的な地域では増加傾向に転じた.一方で、東京都区部では、COVID-19感染拡大以前から他市区町村への転出超過がみられ、流行以後は国外からの転入超過数も減少した.こうした中で、東京都心から20㎞圏にある川口市では、COVID-19感染拡大に関わらず、外国人の国内移動に限ってみれば、転入超過が継続している.

2. 埼玉県川口市における外国人人口の動向 と地域の現況

埼玉県川口市は、県南部に位置し、南は東京都足立区および北区と接する。県内では、さいたま市に次ぐ人口規模®で、鋳物産業を筆頭に製造業が盛んな地域の一つである(竹内 1976)。しかし、オイルショック以後、鋳物工場は移転・廃業を迫られたこ

142 野村 侑平

とで、その跡地がJR川口駅周辺を中心に宅地開発され、急速なベッドタウン化を経験した(川口市都市計画部 2021)。市内にはJR京浜東北線など3路線が乗り入れ、JR川口駅からJR東京駅やJR新宿駅などの主要駅まで30分以内で移動できる。

川口市における在留外国人人口は、2022年6月末現在、39,217人で全国の市区町村のうち最多である。国籍別では、「中国(台湾含む)」が22,630人で最も多く、「ベトナム」が4,372人、「韓国」が2,688人と続くで、市内に居住する日本人と外国人の5歳階級、男女別人口(図6・7)を比較すると、前者は、男女ともに団塊の世代(70-74歳)および団塊ジュニア世代(45-49歳)が際立っており、後者は、20-30代が全体の54.1%を占め、また、0-9歳の割合が日本人のそれよりも大きくき、若い年齢構成になっている。

次に、町丁字別に外国人人口と比率を概観す る (図8) と、2022年1月現在、人口の多い順から 芝園町(2,581人,55.2%),西川口一丁目(1,534 人, 37.3%), 並木三丁目(1,383人, 28.7%), 並木 二丁目(1,089人, 21.8%), 西川口三丁目(924人, 26.9%) と続き、市西部を南北に走るJR京浜東北線 沿線に集中している. 芝園町は, 高学歴の中国人 ニューカマーが集住する川口芝園団地が立地して いる (江・山下 2005) ほか、西川ロー~六丁目およ び並木一~四丁目は、JR西川口駅付近に位置し、 中国系商業施設の集積がみられる(山下 2018: 高松 2020) ここで、川口市地区別の国籍別外国人人口 を参照すると、2022年4月現在、芝園町が含まれる 芝地区には5,020人、西川口および並木が含まれる 横曽根地区には7,696人の中国籍外国人が居住して いる(川口市市民生活部 2022, 37).

最後に、以上を踏まえて、川口市内でも特に中国 籍外国人が集中する横曽根地区における現況につい て2点述べたい、1点目は、JR西川口駅周辺におけ る中国系商業施設の集積についてである. 駅周辺 は、2000年代前半までは違法風俗店の集積がみら れたが、県警の摘発により一掃された. ところが、 「風俗街」としてのイメージは残り続けたために、や がて空テナントが目立ち始め、地域産業の空洞化が 進んだ (増田ほか 2008). そうした中で、中国系商 業施設の入居が相次ぎ、現在は飲食店や食材店のほ かに、不動産、ネットカフェ、カラオケ、美容室な ど多様な業種がみられるようになった% (野村 2020) (図9). 2点目は、中国籍外国人による戸建住宅の取 得についてである。JR西川口駅から半径約200m圏 外は、第一種・第二種住居地域、準工業地域に指定 され、住宅や工場が立地している. このエリアの戸

建住宅は、中国語話者向けのSNS上で、駅までの時間距離、価格、アメニティなどの情報が中国語で公開されている(図10). 2022年10月の予備調査では、横曽根地区内の準工業地域において、工場の跡地に複数の戸建住宅を建築するケースが散見され、土地利用の変化、住宅需要の増加がみてとれた(図11). このように、住工混在がみられる横曽根地区において比較的年齢層の若い現代中国人による生活空間が形成されつつあることが窺える

先述したように、川口市には他市区町村からの外 国人の転入超過が継続している 統計からでは、出 発地別の転入者数や彼らの国籍, 在留資格を把握で きないが、以上を踏まえれば、川口市において、江・ 山下(2005)がすでに指摘するように、日本への定住 志向を持つ中国籍外国人による東京都区部からの移 動が一定数存在すると推察される。こうして形成さ れた集住地区は、Li(1998, 2009)が提唱した、もと もと都心地域に居住していた中国系住民が集住する 郊外地区"Ethnoburb"との類似点も多く、今後比較・ 検討することが求められよう. とりわけ戸建住宅を 取得する中国籍外国人については、日本への定住意 識が比較的高いことが想像される. 彼らが日本ある いは川口市に来た理由、定住意識やその形成過程, 生活様式、さらには彼らの転入により地域の様相が どのように変容していくのかが今後の調査により解 明されることを期待したい。

注

- 本稿では、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県の一都三県を指す。
- 2) 法務省出入国在留管理庁「在留外国人統計」では、2012年 12月末より市区町村別で「中国」と「台湾」の人口がそれぞれ参照できる。ただし、本稿では、川口市企画財政部「川 口市統計書」の「中国」が台湾を含む値であることを踏ま え、両統計間の値が比較できるように、「在留外国人統 計」における「中国」と「台湾」の値を合算した「中国(台湾 含む)」を採用した。
- 3) 法務省出入国在留管理庁「在留外国人統計」では、2015年 6月末まで全国・都道府県別・市区町村別で「韓国・朝鮮」 として集計されていたが、2015年12月末から2020年12月 末まで都道府県別で「韓国」と「朝鮮」に区分され、市区町 村別で「韓国」のみが掲載されるようになった。2021年6 月末以降は、全国の「韓国」と「朝鮮」の値をそれぞれ参照 できるが、都道府県別・市区町村別ともに「韓国」のみの 掲載となった。以上を踏まえて、本稿では、都道府県別・ 市区町村別において2012年12月末から2015年6月末まで 「韓国・朝鮮」、2015年12月末以降は「韓国」の値を採用し

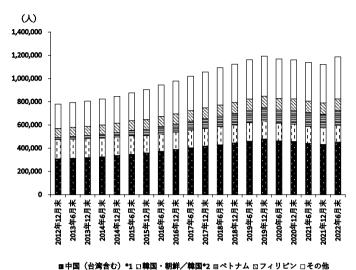
- た. なお, データが参照できる2015年12月末以降,「朝鮮」は減少傾向にあり, 2022年6月現在, 全国の「朝鮮」(25,871人)は、「韓国」(412,340人)の6,3%に相当する.
- 4) 就労資格」は、教授、芸術、宗教、報道、高度専門職1号イ、高度専門職1号ロ、高度専門職1号ハ、高度専門職2号、経営・管理、法律・会計業務、医療、研究、教育、技術・人文知識・国際業務、企業内転勤、介護、興行、技能、特定技能1号、特定技能2号の合計、「技能実習1号イ、技能実習1号ロ、技能実習2号ロ、技能実習3号ロの合計、「留学」は、留学、「居住資格」は、永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者の合計、「その他」は、文化活動、研修、家族滞在、特定活動の合計により算出した、以上の分類は、法務省出入国在留管理庁「在留資格一覧表」に従った。https://www.moj.go.jp/isa/applications/guide/qaq5.html(2023年1月28日最終閲覧)
- 5) 全国の在留外国人人口は、2022年6月末現在、2,961,969 人と過去最多を記録した、全国の「回復率」は、101.1で、 COVID-19感染拡大以前の水準に回復したといえる。
- 6) 2022年1月現在,605,545人(川口市企画財政部「川口市統計書」).
- 7) 在留中国人人口,在留ベトナム人人口についても,全国の市区町村のうち最多である。
- 8) 川口市に居住する0-9歳人口の割合は、日本人が7.6%、 外国人が10.5%で、外国人の方が2.9%ポイント高い。
- 9) 野村(2020)の現地調査によれば、2019年12月時点で西川 ロー〜三丁目だけでも80軒超のエスニック・ビジネスの 立地が確認され、そのうち大半を占める中国系商業施設 は2014年以降に開業する傾向がみられた。

参考文献

- 川口市市民生活部 2022. 「川口市多文化共生指針策定委員会 委嘱書交付式及び第 1 回委員会」,https://www.city.kawaguchi. lg.jp/material/files/group/26/all-1siryou.pdf (2023年2月4日最終 閲覧)
- 川口市都市計画部 2021.「川口駅周辺の課題とまちづくりの方向性について 令和3年 (2021年) 7月29日 第1回 川口駅周辺まちづくりビジョン検討会」, https://www.city.kawaguchi.lg.jp/material/files/group/116/kawaguchista_vision_1st_3.pdf (2023年2月1日最終閲覧)
- 江衛・山下清海 2005. 公共住宅団地における華人ニューカマーズの集住化:埼玉県川口芝園団地の事例. 人文地理学研究 29 33-58.
- 高松宏弥 2020. 西川口チャイナタウンの形成要因に関する研究ー東京圏における中国人集住地域に着目して一. 国際公共経済研究 31 95-105.
- 竹内淳彦 1976. 川口市における鋳物業集団の構造. 地理学評論 49-12 780-791.
- 野村侑平 2020. 東京都心周辺における複数のエスニック集団 によるエスニック・ビジネス集積の実態。日本地理教育学

- 会,新地理 68-2「2019年度全国地理学専攻学生卒業論文発表大会記録」116-117.
- 増田太郎・後藤清高・中村俊介・黒須聡・石井峰夫・栁澤実和 2008.「川口市平成19年度グループ課題研究から 西川口元気マシマシ計画 From NK to NK ~Nishi Kawaguchi to New Kawaguchi~」『Think-ing』9 76-82.
- 山下清海 2018.「世界のチャイナタウンは今(2) 日本のニューチャイナタウン――池袋の次は埼玉県西川口」『東方』448 14-15.
- Li,W. 1998. Anatomy of a New Ethnic Settlement: The Chinese Ethnoburb in Los Angeles. Urban Studies 35-3 479-501.
- Li, W. 2009. Ethnoburb: The New Ethnic Community in Urban America. University of Hawaii Press

144 野村 侑平



国中国(日月日も)・I □特国・初新/特国・2 目へ「ノス □ノイソこノ □てい旧

図1 東京大都市圏における主要国籍別在留外国人人口推移(2012 年 12 月末 -2022 年 6 月末) *1「中国(台湾含む)」は,「中国」と「台湾」の値を合計したものを用いている。 *2 2012 年 12 月末から 2015 年 6 月末までは「韓国・朝鮮」,2015 年 12 月末から 2022 年 6 月末までは「韓国」の値を用いている。 法務省出入国在留管理庁「在留外国人統計」より作成。

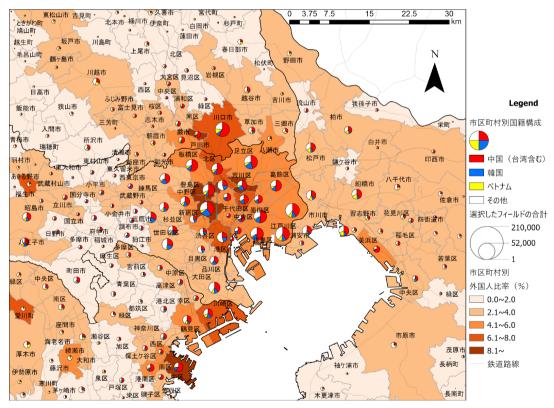


図 2 東京大都市圏における市区町村別主要国籍構成(2022 年 6 月末)および外国人比率(2022 年 1 月) 国籍構成は,法務省出入国在留管理庁「在留外国人統計」,

外国人人口比率は、総務省統計局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」より作成.

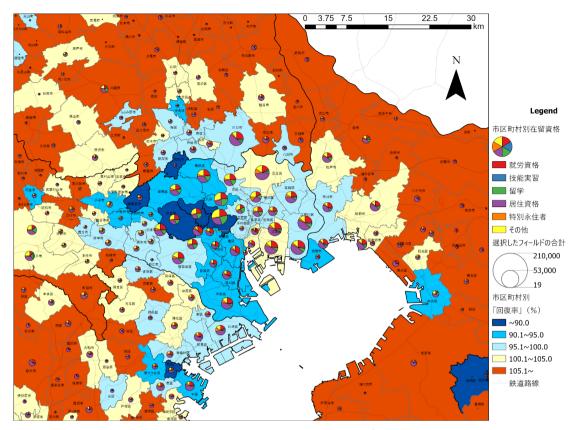


図3 東京大都市圏における市区町村別主要在留資格構成および「回復率」(2022年6月末)「回復率」=「2022年6月末の在留外国人人口÷2019年12月末の在留外国人人口×100」より算出した。 法務省出入国在留管理庁「在留外国人統計」より作成.

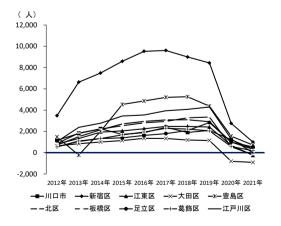


図4 東京大都市圏内外国人人口上位10市区町村における転入超過数(国外)の推移(2012年-2021年) 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」 より作成。

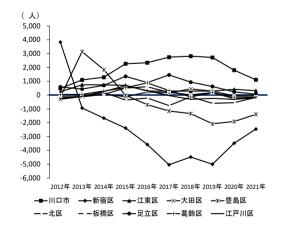
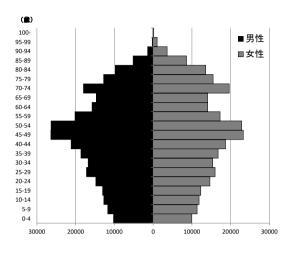


図 5 東京大都市圏内外国人人口上位 10 市区町村における転入超過数 (国内) の推移 (2012年-2021年) 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」 より作成。

146 野村 侑平



(業) 100-■男性 95-99 90-94 ■女性 85-89 80-84 75-79 70-74 65-69 60-64 55-59 50-54 45-49 40-44 35-39 30-34 25-29 20-24 10-14 5-9 0-4

図 6 川口市に居住する日本人の5歳階級, 男女別人口 (2022 年1月) 川口市企画財政部「川口市統計書」より作成

図7 川口市に居住する外国人の5歳階級,男女別人口(2022 年1月) 川口市企画財政部「川口市統計書」より作成.

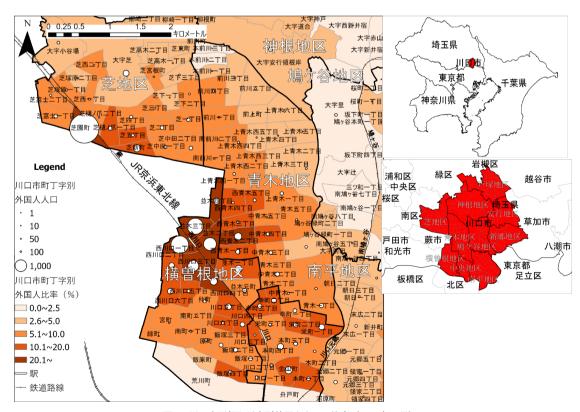


図8 川口市西部町丁字別外国人人口・比率 (2022年1月) 川口市企画財政部「川口市統計書」より作成.



図9 JR 西川口駅周辺の中国系商業施設 (2022 年 1 月) 西川口一丁目にて筆者撮影。プライバシー保護の観点により一部加工した。



図 10 中国語話者向け SNS 上の戸建住宅に関する広告 (2023 年 2 月)

行吟信息科技 (上海) 有限公司が運営する SNS「小紅書 (RED)」で「西川口 戸建」と検索した際の結果. 図中の「新筑未入居 西川口徒步 10 分钟 租赁一户建」は、「新築未入居 西川口駅徒歩 10 分 賃貸一戸建」を意味する. また、ペットや楽器の持ち込みに関する相談が可能であるとの表記もある.



図 11 戸建住宅建築予定地(2022 年 10 月) 西川口六丁目にて撮影。用途地域は、準工業地域に指定され、 周囲には工場と住宅が立ち並ぶ。建築予定地は、2021 年まで 鋳造装置製造業の工場が立地していた(Google Street View に て確認)。